

基山町

No.73

令和2年第1回定例会

3月議会

# 議会だより

基山町議会 | 検索

町議会ホームページ  
<https://www.town.kiyama.lg.jp/gikai/>



【特集】

知って育てよう  
基山の農林業！

基山の農林業	2
予算特別委員会	4
議案審議	6
各常任委員会	8
定例会・臨時会の結果	10
委員会視察報告	11
一般質問	12

令和2年4月30日発行

# 新しいブランドづくりに挑戦

## 基山町の自然環境を守るには 農林業を理解すること

基山町はぎざんや契山のふもとに広がる豊かな自然が自慢の町です。

人の往来も多く福岡市にも近い基山町は、その良さを生かした産業振興の取り組みが可能な町です。

私たちの祖先が大きな重機もない時代にコツコツと努力して切り開いた田畑、そして整備されていた森林が今、荒廃の危機にひんしています。

今回は耕作放棄された農地や人手の入らなくなった山林に目を向け、今までになかった農林産品へ取り組み始めた若い世代や人生経験豊富な世代の新しい取り組みを特集しました。

すでに実績のある農産物とともに町民の皆さんと一緒に基山ブランドに育てていきましょう。



地域住民とボランティア参加



遊休農地をオリーブ園に

## 夢じゃない！オリーブオイルづくり

**山田 和彦さん**（きやまオリーブの会 会長 11区在住）

大好きな基山町の中山間地の景観を町外の人に誇れるようにしたいと思い会を立ち上げ、耕作放棄地を借りてまずはオリーブを50本植えました。

体力には自信がないので若い人と力を合わせて、共に楽しみたい。夢は観光農園として多くの人に景観を楽しんでもらうことです。皆さんも自分のことから子どもや孫にふるさとを伝えてほしいです。

※基山大好きが体中からあふれておられます。

## 茜さんのご飯は多彩で多才

**森山 茜さん**（農家・食育アドバイザー 6区在住）

子育てをしながら農地を借りて農業に従事し、無農薬野菜栽培やみそづくり、食育に取り組んでいます。

息子が2歳の時「お米を作りたい」と言ったのが転機となり、農業に興味をもちました。夢は誰もが楽しい農ある暮らしができる環境を作り広げること。気軽に来れる農園にしているので週末だけでも土に触れてほしいです。

※地域に溶け込み、何事にも前向きに取り組まれています。野菜の種を採る作業をしながら笑顔で語ってくれました。写真は友だちの子どもさんと。

# 知って育てよう基山の農林業！

## ● 農林業従事者の声

- ・ 町全体で盛り上げてほしい
- ・ 農産物加工場がほしい
- ・ 子どものころから自然とのふれあいを
- ・ 魅力的な取り組みを支援してほしい
- ・ 自立できるまでの資金支援をしてほしい

## ● 基山町議会の役割

基山町議会は基山町が進める農林業の取り組みをより町民目線、農林業従事者の視点で見守っていきます。

長い年月を経て受け継がれた農産品、農産加工品を次世代へ繋ぐとともに、新しいブランドづくりにエールを送ります。

今後もさまざまな課題に目を向け、活性化を支援していきます。



彩り鮮やかな森山家の食卓



間伐材も薪として販売中



## 山を育て守る

### 原 彦市さん (林業 6区在住)

基山町の山林の荒廃を心配しています。山林所有者や興味のある人に林業を継続してほしいと願っています。基山町内でも林業一本で生きていきたいです。

※基山町の近年の豪雨災害の多くは土砂崩れによる山林の崩壊です。チェーンソーの使い方や森林内作業の経験者は基山町には必要なものです。薪を割りながら言葉少なに語ってくれました。



## ジャージー牛で乳製品を

### 浅生 忍さん (きやま牧場主 2区在住)

山地酪農家を目指し園部地区の耕作放棄地で牛やヤギを飼育しています。実家も酪農をしているので、牛やヤギがもっと幸せに暮らせるような酪農をやりたいです。

今は牧場での収入はありませんが、事業を成功させて後に続く人をサポートし、企業として利益を出し災害時や非常時などに人を助けられる人間になりたいです。

※「基山に移住して約1年になるが魅力的なことに取り組まれている人が多く、素敵なお町だ」と基山町の印象を子ヤギの名前を呼びながら語ってくれました。

# 予算特別委員会審査報告

## 三つの柱を協働で



脚力維持（11区の通いの場）

### 質問

問 若基小児童減少問題への取り組みは

答 各学年2学級になるよう考える

問 若基小学校児童減少問題にはどのように取り組んでいくのか。

答 定例教育委員会や総合教育会議の中で基山小学校の教室不足と若基小学校の各学年1学級問題を取り上げている。若基小学校が各学年2学級になるよう考えているので、早く着手していきたい。

学



保健センター横に新設された病後児保育施設

## 令和2年度一般会計予算 72億3579万円

松田一也町長2期目の骨格予算である当初予算は前年度比約4億6千万円増の72億3579万円が始まる。施政運営方針では、「健康で、安心と安全なまちづくり」、「基山の自然と歴史を守り、活かす取り組み」、「子育て支援の更なる充実」を三つの柱に掲げ積極的に取り組む姿勢だ。

### 病後児保育事業

子

問 事業を開始するにあたり条例、規則等の整備が必要ではないか。

答 保健センターが行う事業に含まれるため、条例等の制定は必要ない。

問 緊急時対応マニュアルの整備は。

答 保護者を含め3名と連絡がとれるようにしている。保健師や保育士、保健センターの職員それぞれ役割分担を決め、マニュアルに準じ対応する。

### 浄化槽維持管理費補助金事業

暮

問 家庭用浄化槽補助金の1軒1万円で100件の根拠は何なのか、補助を受ける場合は自己申請なのか。また、補助金申請をするには過去1年間に浄化槽保守点検と法定検査が必要になるが周知できているか。

答 補修するブロー交換部品に7千円程度かかり、経年劣化の本年見込みは100件程度とみている。自己申請となるが、当事業の補助については委託業者からも啓発してもらう。

提案 具体的な地区を示し、補助金の交付要綱を整備して実施するとともに、公共下水道との公平性を保つこと。

# 町内防犯カメラ 新たに15台設置

## ふるさと納税に期待 自主財源確保が重要

令和元年度から始まった幼児教育・保育の無償化や、障がい福祉に要する扶助費の増加に伴い、一般財源の負担も増加している。今後自主財源の確保はいつそう重要な課題となってくる。とりわけふるさと納税は大きなウエイトを占めており、安定的な財源確保の継続が望まれる。

**問** 重要な財源であるふるさと応援寄附基金7億円の使い方に基準はあるのか。

**答** 経常的事業には使わないが、制度が続く限り、まちづくりに関する事業や子育て支援などに使っていく。

**問** ふるさと応援寄附金 寄附額増加の取り組みを。

**答** 積極的な姿勢は大事だと認識している。

**提案** 寄附金の獲得に今後も適切に取り組み、返礼品の開発やさまざまな工夫をすること。

令和2年度特別会計

国民健康保険特別会計予算額	20億3552万円
後期高齢者医療特別会計予算額	2億5763万円
下水道事業会計	
収益的収入予定額	4億1314万円
収益的支出予定額	3億8889万円



鐘が鳴り響く御神幸祭（荒穂神社）

子育ての拠点



町立保育所も併設される基山っ子みらい館

公園施設長寿命化事業  
(総合体育館)

設

**問** 外壁改修後どのような工事があるのか。

**答** 基山町公共施設等総合管理計画の中に公園施設長寿命化が含まれている。総合体育館の主な整備は、今回で終わる。

**問** 町営球場の照明設備等は。

**答** 令和2年度に策定する個別計画の中で示せるようにしていく。

防犯対策備品 610万円

**問** 防犯カメラの設置台数および新設予定場所の設置基準は。

**答** 設置済み66台、設置予定15台。新設場所は区長の要望や事故発生の多い交差点に設置していく。

**提案** 防犯カメラの管理体制とコスト上昇抑制のための管理規定を整備すること。

令和2年度国民健康保険特別会計予算

**問** 特定健診の未受診者対策は成果が出ているのか。

**答** 家庭訪問や受診勧奨の通知を送っている。5年間で10%程度受診率が向上。令和元年度は50.1%。令和2年度から集団検診における受診料の1,000円を免除する。

# 国民健康保険、12年ぶりに大幅改定！

## 改正のポイント（医療費分、後期高齢者支援金分、介護分の合計）

	所得割	平等割	均等割
現行	13% (10.6%)	45,600円 (40,600円)	40,900円 (32,300円)
改正後	13.6% (11.3%)	44,500円 (40,000円)	42,700円 (33,800円)

※（ ）内は、40歳から64歳以外の税率と税額

※平等割とは、一世帯当たり 均等割とは、一人当たり

## 国民健康保険運営協議会の付帯意見

- 令和3年度の保険税率について、被保険者の負担増に配慮し、協議会での審議を行うこと。
- 特定健診の受診率、保健指導の実施率の向上と生活習慣病重症化予防対策に取り組むこと。
- 医療費の適正化に向けた取り組みを実施すること。

国民健康保険財政が令和9年度からの佐賀県統一に伴い、財政基盤の安定化を図る条例改正。協議会は、健全な財政運営を図るために基金の活用と、ジェネリック医薬品の推進と適時な医療機関受診等を推進するよう提案した。

## 国民健康保険財政調整基金3億1443万円

佐賀県は令和9年度に全市町の国保税の所得割を19.6%に改定する予定。

**提案** 基金の取り崩しをしながら、大幅な税負担を求められないように運営することを提案した。



新型コロナウイルス対策を

## 18歳以下の第3子以降の子どもに対する均等割（合計33,800円）を免除

3人目以降免除した場合の必要な額  
676,000円

$$\left[ \begin{array}{l} 33,800\text{円} \\ \text{(均等割額)} \end{array} \times \begin{array}{l} 20\text{人} \\ \text{(令和元年の対象者)} \end{array} \right]$$

町の独自政策により、  
多子世帯の子育てを応援

## ここをチェック！

# 第1回臨時会 ふるさと納税、総額11億円に

ふるさと応援寄附積立金	4億7136万円
寄附者への返礼品代	4億9075万円
委託料その他	1億3789万円



## 令和元年度一般会計補正予算 3億6021万円追加、総額87億4299万円に

### 主な事業

#### JR基山駅にビジターセンターを整備

予算：970万円

来訪者のおもてなしスポットとするために、無人観光案内所を設置する。

**提案** 駅構内の電子掲示板や特産品展示場と統一性を持たせること。



JR基山駅西口階段下に整備



洋式トイレになる若基小学校

#### 若基小学校のトイレ、洋式化へ

予算：1億1290万円

若基小学校のすべてのトイレを大規模改造し、和式から洋式へ。

**提案** 今後の校舎改造工事の内容と時期を説明すること。

#### 三国・丸林線、踏切拡幅へ

予算：1億2387万円

三国・丸林線改良工事とともに、踏切を拡幅し、安全対策を講じる。

**提案** 安全対策と今後の町道改良工事の全体計画を整備すること。



踏切幅が10.5mに拡幅予定



園児が利用する高島団地内道路

#### 園児の安心・安全対策工事

予算：776万円

園児が日常的に集団で移動する道路の安全確保を図るため、カラー舗装、防護柵等を設置する。

**提案** 町内の危険町道の把握と安全対策を行い、計画的にカラー舗装、防護柵等を設置すること。

第1回定例会 議案審議

基山町就学指導委員会設置条例の一部改正

**目的** 心身に障害を有する幼児および児童生徒に対する就学判定時のみならず、その後の一貫した教育的支援にも助言を行う。

**問** 就学指導委員会から教育支援委員会に変わることに、委員会の活動内容はどう変わるのか。

**答** 従前の年1回の就学判定時の特別支援学級への入級だけでなく、小学校入学から中学校卒業まで継続して支援していく。

また、必要に応じて教育的支援について助言を行う。

**提案** 不安を持つ児童生徒や保護者の意見・要望を聴き、その願いが届くような委員会とすること。



6月完成予定の基山中学校大規模改造工事

基山中学校校舎大規模改造工事(管理棟)請負契約変更

**問** 3408万円の大増額の請負契約変更となるがなぜか。

**答** 当初設計段階では、低い箇所しか調査ができなかった。施工時に足を組んだ時に3階や屋上の多くのクラックや浮き・剥離・破損が確認された。また、劣化がひどかった音楽室天井張替工事と風速計取替工事の追加を行った。



エレベーター・スロープの設置箇所

一般会計補正予算

基山中学校校舎大規模改造工事 5290万円

**問** 障がい児対策により新たにエレベーター・スロープが設置される。設置する箇所には道路との段差があるが、どのような計画か。

**答** 段差はスロープで解消し、その差を少なくするためにエレベーターの停車位置は中1階を設ける。また、スロープには手すり・屋根を計画している。

**提案** 監視カメラの設置および部外者・休日等のセキュリティを含め、安全面に配慮すること。

所管事務調査

総務文教常任委員会

基山小学校との意見交換

今回の意見交換では、教室の環境整備については、学年によっては教室が1、2階に分かれており、連絡が取りづらい。

特別支援学級は狭い教室があるため、隣の教室の声や音が聞こえて児童が集中できないことがある。

学習指導要領の変更で苦慮している点では、プログラミング教育は専門性が高く不安があり、専科の教師の助けも必要などの意見が出された。

当委員会としては、教育環境の整備は重点項目と位置づけ、さらなる施設の充実に努めること。そのためには教育学習課と現場である学校関係者の協議の場を数多くもつよう提案した。



教育長、校長、教職員等と



## 第1回定例会 議案審議

### 基山町条例を廃止する条例の一部改正について

**目的** 基山町農産物加工場（ちぎりの里）は、老朽化により、令和元年度で廃止になるため、設置および管理に関する条例を廃止する必要がある。

**問** 廃止後の施設の活用方法は。

**答** 小松地区が集会所として利用したい意向を持っている。当面は無償で貸借する予定である。

**問** 不動産鑑定結果は。

**答** 土地が550万円、建物が45万円である。今後の有効活用方法も随時検討していく。

**提案** 農産物加工場に限らず、町の所有財産の施設利

用については、議会に対する説明責任を果たすこと。



32年間稼働した「ちぎりの里」

### 一般会計補正予算

三国・丸林線道路改良工事  
4755万円

踏切道改良事業負担金  
1億2387万円

**問** 工事期間と工事内容は。

**答** 令和5年度に完了予定。道幅の狭い高速道路のボックス内は特注製

品を製作中であり、随時工事に入る。三国踏切道はJRとの協議が必要な場所であり、慎重に対応している。

**提案** この場所は、白坂久保田2号線の開通や基山パーキングエリアの利用者増で交通量が増えることが予想される。工事期間中の車両や、人の通行経路等、交通安全対策を講じること。



拡張工事が始まる高速下のボックス

### 基肄城跡災害復旧工事

▲884万円

**問** 884万円の減額理由は何か。

**答** 佐賀県の治山ダム建設工事の延期による減額であり、令和2年度以降に持ち越す分である。

## 所管事務調査

厚生産業常任委員会

### 4月オープンの子みらい館

「基山っ子みらい館」は基山保育園と子育て交流広場の複合施設である。保育園の定員は230名、人数増にも対応可、園児のランチルームも整備する。

当委員会としては、安全な避難体制の構築、交流広場活用の具体的内容の提示、竹林のヤブ蚊対策、開館日の検討、職員の昼休み休憩確保等の待遇改善を図るよう提案した。



曲線が美しい基山っ子みらい館

# 全議案および賛否表

## 全会一致で可決承認・同意した議案

### 令和2年 第1回臨時会 (1月10日)

議案番号	議案名
議案1	公工31補第2号総合公園施設長寿命化工事(総合体育館武道場天井・アリーナ屋根外壁)請負契約について
議案2	令和元年度一般会計補正予算(第7号)

### 令和2年 第1回定例会 (3月3日~23日)

議案番号	議案名	議案番号	議案名
議案3	印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正について	議案10	基山中学校校舎大規模改造工事(管理棟)請負契約の変更について
議案4	町職員定数条例の一部改正について	議案11	令和元年度一般会計補正予算(第8号)
議案5	災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について	議案12	令和元年度国民健康保険特別会計補正予算(第4号)
議案7	町営住宅設置及び管理条例の一部改正について	議案13	令和元年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
議案8	就学指導委員会条例の一部改正について	議案14	令和元年度下水道事業会計補正予算(第4号)
議案9	条例を廃止する条例の一部改正について	議案15	令和2年度一般会計予算
同意2	農業委員会の委員の過半数を認定農業者等又はこれらに準ずる者とするにつき同意を求めることについて	議案18	令和2年度下水道事業会計予算

## 賛否が分かれた議案 ○賛成 ×反対 議長は採決に加わりません

議案番号	議案名	賛否表										
		1	2	3	4	5	6	8	9	10	11	12
		中村 絵理	天本 勉	松石 健児	大久保由美子	末次 明	桑野 久明	河野 保久	重松 一徳	鳥飼 勝美	大山 勝代	松石 信男
議案6	国民健康保険条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
議案16	令和2年度国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
議案17	令和2年度後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
同意1	副町長の選任につき同意を求めることについて	無記名投票により同意(同意10、不同意1)										

## 基山町副町長の選任を同意

さかい ひでよし  
酒井 英良 氏 (大字小倉)

(略歴) 昭和57年4月 基山町役場 奉職  
 平成25年4月 同 総務課長  
 平成27年4月 同 総務企画課長  
 平成28年4月 同 副町長



# 広報コンクール表彰の町村に学ぶ

広報広聴常任委員会

令和2年1月28日～29日視察

一般質問の見出しは「村政に喝」 鳥取県日吉津村

編集ソフトの活用と随所に工夫 鳥根県美郷町

周辺との合併をせず、1200世帯ほどの村。議会広報は昭和56年創刊で40年の歴史がある(基山町は平成15年)。

26ページとボリュームのある議会広報誌。作業の進め方は編集ソフトの活用で、原稿・編集・校正・印刷等が最小限の時間で済むように工夫されている。

「村政に喝」と表記された一般質問は議会の心構えの表れだろうか。一人1ページで、内容に合った写真が2枚掲載されている。議会が地域へ足を運び、対話するシリーズでの「村民インタビュー」は議会と住民がつながるいい企画だ。

「議員が言いたいこと」と「町民が聞きたいこと」のギャップをどう埋めるかを考えることが、基山町議会だより作成にも重要だと感じた。

## 国会へ来たはい

T. MORIYAMA



美郷町在住 プロの漫画家さんの連載「議会漫画」

# 夜間議会・通年議会の取り組み

議会運営委員会

令和2年2月13日～14日視察

夜間議会の意義と続けることの難しさ 大分県九重町

平成12年から一般質問を夜間議会として行っている。12月議会で17時開会、20時をめぐりに閉会。持ち時間40分、傍聴者は20人程度。

全国的にどれほどの自治体が実施しているのかといえば、意外と少なく17町村(927自治体中)と3市。昼間議会傍聴に來れない町民のために導入された。当初は多かつた参加者も、減少傾向にあるとのこと。夜間議会の意義はわかるが、開催するときの執行部の負担など続ける難しさもあると感じた。

執行部も緊張感をもつ通年議会 熊本県御船町

町長挨拶の中で、「通年議会をすることで、執行部も緊張感をもって業務をしている。」との発言。平成の大合併をせず、

単独行政を進める中、行政も議会も改革が行われた。通年議会もその一つ。4月に町長が議会を招集後、年度中議長の判断で開催できる。通年議会のほか、様々な改革が行われている。議会報告会・あおぞら議会・議会アンケート実施・議会だよりの毎月発行・議会モニター設置・政務活動費の交付(年間24万円)・自主勉強会など。



九重町での研修

各常任委員会の視察報告は、HPに記載しております。

基山町議会 検索

11人が町政を問う



**問** 認知症患者に事故救済制度の導入は  
**答** 個別の受診勧奨や相談につないでいく

松石健児議員

認知症患者への救済強化を

**問** 単身高齢者世帯数と今後の推移予測は。

**答** 令和2年1月末で827世帯。令和7年に951世帯に。

**問** 認知症の判断基準である日常生活自立度Ⅱ以上の人数は。

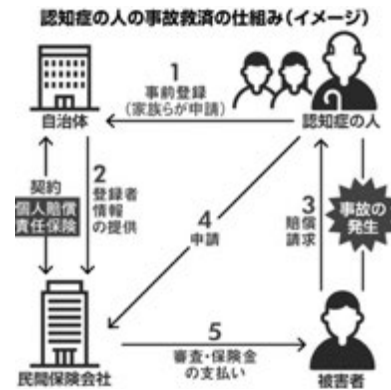
**答** 1月末現在で441人。

**問** 認知症診断助成制度や認知症事故救済制度にも取り組めないか。

**答** 令和2年度の後期高齢者の特定健診において、質問票により健康状態、認知機能、生活習慣や低栄養状態を把握できるようにする。その結果により、個別の受診勧奨や高齢者相談につないでいく。

**問** 既に認知症の方もいる。本人および家族等が安心して暮らせる環境を求む。

**答** 久留米大学等と連携して対策を考えていく。



近隣では久留米市、吉野ヶ里町等で採用されている (資料: 朝日新聞デジタルより)

基山町合宿所の運営管理徹底を

**問** 合宿所と食堂部門の連携は。

**答** 合宿所は、必要経費に収益を加えた委託料を支払っているため問題ない。合宿所利用者への食事提供や昼間の食堂については、個人事業なので、売り上げによる収益が必要。

**問** 町直営なのに食堂部門が赤字で閉鎖になってもいいのか。

**答** 委託業者と十分連携を取りながら昼の食堂部門継続と利用者サービスの向上に努めたい。



**問** 町長のマニフェストについて  
**答** 町政の勢いを止めず、さらなる発展を

天本 勉議員

**問** 松田町長二期目のマニフェストで、町の方向性および具体的な施策として子育て支援など8つの柱に各項目が掲げられている。

その中で、ミニ地区計画による調整区域への住宅開発(特に若基小学校区域)とあるが、町の基本的な方向性は。

**答** 若基小学校区域では、児童数の減少などの課題に直面していることから、宅地需要が高い。市街化区域に隣接する市街化調整区域について、優先度を上げてミニ地区計画による住宅用地確保を実現し、子育て・若者世帯の獲得を目指していく。

**問** 第5次基山町総合計画と今回のマニフェストとの整合をどう図るのか。

**答** 総合計画は、10年間のまちづくりの指針となる本町の根幹をなす計画である。この計画に示した施策への具体



若基小校区の児童減対策として期待される白坂地区

的な取り組みや実施期間を明らかにし、毎年度における予算編成や事業実施の指針としている実施計画に盛り込み実施していく。今回のマニフェストは、この実施計画を意識したものととして作成した。また、総合計画は令和2年度を中間年度とし、進捗状況を検証する。その上で計画の再構築が必要であれば見直す。



問 多世代交流センター憩の家の課題

答 状況を確認して検討する

中村 絵 理 議員

問 キッズルーム利用者の町内外の割合は。

答 町内21%、町外79%の割合。

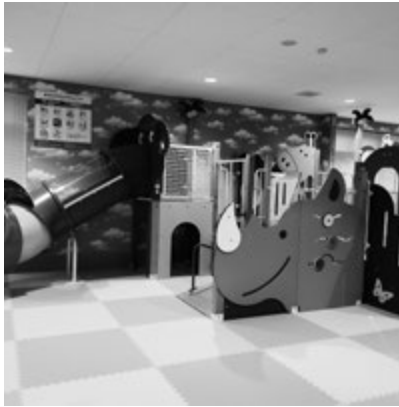
問 町内優先であるべき。開館日や利用者の優先方法、使用料などを再考する時期ではないか。

答 指定管理者との契約が令和2年度までである。令和3年度からの参考にした。

問 にぎやか過ぎて事務所での電話対応や高齢者の居場所にも支障が出ている。どのように捉えているのか。

答 電話に出る際にはフリーハンドレシーバヘッドセット等の導入を検討していく。

提案 利用者の意見を聴いてから町民が望む管理運営を。また、業務内容の煩雑さに対し職員数が足りていない。利用料など、歳入方法の見直しを図り、働きやすい環境整備を提案する。



終日無料のキッズルーム

高齢者の生きがいと買物・移動支援について

問 老人クラブ活性化のための支援策は。

答 連絡協議会などのゆるやかな組織を設置すべく、各区の老人クラブなどと協議を進める。

問 コミュニティバスの見直し内容と実施期間は。

答 必要に応じた見直しを実施している。

提案 改善を望む町民がいる。結果を出してほしい。

問 高齢化対策は若い世代の理解必要

答 活躍の場を増やし多世代交流

末次 明 議員



高齢者の生きがいづくり

問 町民主体の活動支援と町主体の取り組みのどちらにウエイトを置くか。まちづくり基金や創業者支援事業をPRせよ。

答 基本は町民主体の取り組み支援が大事だ。一方、高齢者が活躍できる機会を広げる活動は町全体で取り組んでいく。支援事業には年齢制限はないのでPRしたい。

問 高齢者の健康問題や生活するための悩みをどのように収集して対策をとるのか。相談窓口はどこか、幅広く聴く体制をとれ。

答 福祉課、地域包括支援センター、民生児童委員、社協が窓口。今後、ワンストップの相談体制の充実と個別家庭訪問隊を結成して声を直接収集したい。

問 高齢者対策で「温かさや思いやり」をどう町民に伝えるか。

答 健康維持にはスポーツ・文化活動と多世代の連携が大事。基山

創作劇や町民体育大会は好例である。高齢者の協力を期待する。



活用できる農地はある

農産物加工場の新設構想は

問 新設構想、場所や運営方法は。

答 農業、園芸作物の取り組みに熱心な地域を中心に、個々の地域の組織や生産者との打ち合わせにより地元の声を吸い上げ、細やかに丁寧な協議を行うことで新たな計画の策定を図っていく。



**問** 13区内側溝蓋整備の見通しは  
**答** 令和5年度までに完了予定

大山 勝 代議員



13区公民館前の側溝蓋

**問** 町道桜町・伊勢山線を夜中に走る大型車の振動で、沿線住民は眠りを妨げられている。抜本的な解決を求めたい。  
**答** 道路沿線の皆様の不安を和らげるため、部分的な舗装補修を考えている。

**問** 地区内の側溝蓋の整備計画はどうなっているか。

**答** 現在13区公民館前から整備している。令和5年度までの完了を予定している。

**問** 地区内の2つのため池の東側を埋め立てできないか。できなければ周辺整備をしてほしい。

**答** 農地の水利権と同時に防災調整池を兼用している。埋め立てによる機能廃止は難しい。

**問** 町営住宅は空き戸数が多い。入居者を増やすために内部の整備をするべきと思うがどうか。インターホンや電気容量の改善などしてほしい。

**答** 浴槽や給湯器などの設備を整えて試験的にやってみよう。

学校規模の適正化について

**問** 狭い基山町内で2つの小学校の規模がアンバランスだ。例えば「学区を考える協議会」を立ち上げるなどして議論を進めるべきではないか。

**答** 学校規模の適正化はできるだけ早く進めていきたい。



**問** 条例制定にあたり考慮したところは  
**答** わかりやすい内容になるよう考慮

河野 保 久 議員

**問** 環境基本条例の制定にあたり考慮した点は。

**答** 環境に対する取り組みがわかりやすい内容になるよう考慮。前文については何度も修正をかけた。

**問** 条例に対する町民の反応は。

**答** 感想等は聞いていない。基本計画策定では住民の意見を聞いていきたい。

**問** 基本計画の策定の工程は。

**答** 令和2年度に庁内推進委員会および環境審議会を立ち上げ、町民及び事業者へアンケートを実施・分析し、ワークショップの開催を検討している。令和3年度には基礎調査等を取りまとめ、素案を作成。町民の意見を十分に聴いて、計画を策定したい。

**問** 基本計画の重点項目は。

**答** 基本理念に基づき、生活・自然環境の保全、環境教育の推進、循環型社会の構築等が推定される。



基山の自然を皆で守ろう

民生委員・児童委員について  
**問** 定数は何人か。  
**答** 70世帯から200世帯毎に1人を基準とし、36人である。

**問** 活動費の増額等待遇の改善は。  
**答** 活動の増加が予想される。それに伴いどのくらい負担が増えるのかを検討し、活動費の町負担額増も視野に入れて、見直していく。



**問** 高校卒業までの通院費助成を  
答 実施に向けて検討する

松石信 男議員

**問** 20年ぶりの町長選挙は歓迎された。争点や選挙結果についての所見は。

**答** 争点についてはコメントを控える。相手側の4千票、棄権の5200票を真撃に受け止め、理解をいただけるよう努力する。



保育園で遊ぶ子どもたち

**問** 子どもの貧困対策として、「子ども食堂」や「フードバンク」を進める必要がある。また、公民館での無料塾の実現を求める。

**答** 重要な活動だ。民間や社会福祉協議会など関係機関と連携が必

要。無料塾は各区公民館と相談して来年度から始めていきたい。

**問** 高卒までの医療費（通院）助成、来年度実施を。

**答** 医療費現物給付で来年4月実施に向けて準備する。

**問** 中山間地農業の振興をどう図るのか。

**答** 棚田法の指定で事業メニューや補助率が上がるので、認定に向けて準備・検討を進める。

**問** 上がる国保税  
子どもの均等割減免を

**問** 今でも高過ぎる国保税引上げは、加入者の健康を破壊し、命をも脅かす恐れがある。子どもが多いほど引き上がる国保税「均等割」は子育て支援に逆行する。子ども「均等割」減免を求める。

**答** 子どもの3人目以降の国保税「均等割」は免除する。全員免除には約500万円必要。



**問** 松田町長二期目の町政運営は  
答 温もりのあるまちを目指す

鳥飼勝 美議員

**問** 選挙後の挨拶で、相手候補に感謝すると述べられているが。

**答** 選挙により学ぶことが多かった。基山町の光と影を知り、私の悪い点を見直していくことを気付かせていただき感謝している。

**問** 町長二期目の町政運営は。

**答** 一期目の成果で勢いを加速し、温もりのあるまちを目指す。

**問** 議会との関係をどのように考えているのか。

**答** 議会は、地方公共団体の意思を決定する機能と執行機関を監視する機能があり、議会との信頼関係が必要と認識している。

**問** 議会に対する説明責任が充分果たされていると思うのか。

**答** 議案資料等に基づき、今後さらに丁寧な説明を行っていく。

新型コロナウイルス感染症対策について

**問** コロナウイルスの症状は。

**答** 感染した場合の主な症状は、通常の風邪と同様、発熱、咳・くしゃみなどの呼吸器症状があり、重症化すると肺炎を引き起こす。

**問** 感染予防策とはどのようなものか。

**答** 石鹸やアルコール消毒液などによる手洗い、マスクの着用とできるだけ人混みの多い場所を避けることが重要。



臨時休校の基山小学校



**問** 首長選挙には公開討論会を  
答 公平の立場でいつでも応じる

栗野久明議員

町長選挙の課題は

**問** 町長選挙を終えての思いは。

**答** 支持していただいた町民、後援会の皆様、相手候補およびその選対への感謝をもとに、みんなでより良い基山町をつくりたい。

**問** 選挙公約が大多数の有権者に伝わったと思うか。

**答** 説明の時間もなく、4年間の実績の継続と拡大を期待いただいた部分が多い。1人暮らしの高齢者世帯対策の必要性については、ご理解を得たのではと思っております。その対応策についてこの4年間で筋道をつけたい。

**問** 首長選挙では、両候補者から同一のテーマで施策を討論してもらう公開討論会が開催できれば、有権者にも分かりやすいのでは。

**答** 選挙に限らず、公平の立場で純粹に施策論を交わす場であれ

ば、いつでも応じる。

コミュニティバスの利便性を向上し、運転免許の自主返納促進を

**問** 10区・13区・けやき台などで、バスの増便を願う声をよく聞く。議論が必要だが、試験的に1台増車して利用客の動向調査をしてはどうか。

**答** 地域公共交通活性化協議会で様々な視野からコミュニティバスの運行の在り方を検討したい。



利便性を問われるコミュニティバス



**問** 病後児保育施設の条例制定は  
答 条例は設けず、実施要綱を制定

重松一徳議員

病後児保育事業

病気やけがの回復期の6カ月以上、小学3年生までの幼児、園児や児童を一時保育する事業で、4月から運用する。



庁舎、保健センター間に、病後児保育の施設

**問** 病後児保育の設置及び管理条例を制定しない理由は。

**答** 保健センターの増築であり、現在の条例で対応できる。

**問** 庁舎と保健センターの間の狭い場所に新築された。利用料金や開設時間はどう規定するのか。

**答** 病後児保育の実施要綱を制定

し、その中に規定する。

**提案** 町民に分かりやすい条例を制定するように提案する。

**問** 利用者が事前登録をしなければならぬ理由は。

**答** アレルギーや病歴を事前に把握する必要がある。

**問** 利用料が前納となっているが、利用後の納付にはできないか。

**答** 前日までに利用申請をもらう中で利用料金も納付してもらう。保育士や保健師等の人定配置を調整する必要があるし、キャンセルを減らしたい。

**問** 緊急時対応マニュアルは作成しているのか。

**答** 病後児の様態変化に応じて、緊急時等も考慮して対応マニュアルを作成している。保護者やかかりつけ医への連絡体制も問題ない。



## 一般質問



**問** 制服の選択制導入の見解は  
答 時代に合った制度と認識する

大久保 由美子 議員

公立学校の制服選択制の導入を

**問** 性別に関係なくスカートかスラックスの選択導入の学校が増えている。冬の寒さ対策、動きやすさなどの機能性、LGBT（性的少数者）への配慮や、私服の学校の女子や成人女性のスラックス着用が多い現状をどう思うか。

**答** 社会的女子の服装やLGBTも含め、制服を一律にスカートでいいのか考える時代に来ている。

**問** 児童生徒や保護者へのアンケート、検討委員会設置の考えは。

**答** LGBTへの配慮を含め標準服導入を検討する余地はある。幅広く意見を聞き前向きに検討したい。ただ変わることが先行されないよう気を付けたい。また教育委員会会で現在の問題点の有無を検討し結果を受け、アンケートの実施や検討委員会の設置について今後、検討したい。

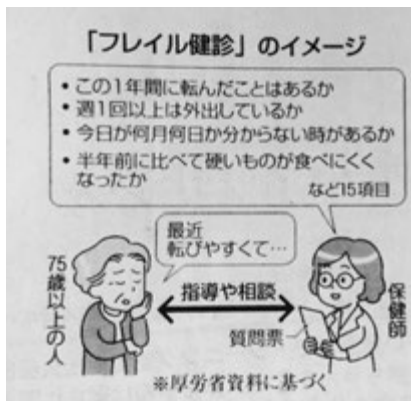
後期高齢者対象のフレイル健診は

**問** フレイルとは何か。

**答** 高齢者が筋力や活動が心身ともに低下してきた状態を表す。

**問** フレイル健診の目的は。

**答** 特定健診時に心身状態を質問票に申告をして健康状態、食習慣、認知機能などの評価を行い健康相談、保健指導を実施し健康寿命の延伸に活かす取り組み。



75歳以上の人を対象に  
(資料：福井新聞より)

令和2年 第2回基山町議会定例会 会期の予定  
6月5日（金）～12日（金）

休日議会 一般質問 6月6日（土）・7日（日）

議会を傍聴してみませんか。多くの皆さまの傍聴をお待ちしております。

※この会期日程等は、状況により変更することがあります。

## 議長交際費執行状況表 (令和元年度 1月～3月)

支出種別	支出金額(円)	支出の相手方および行事名等	
接遇	6,000	1/28～29 広報広聴常任委員会視察研修	2件
接遇	6,000	2/13～14 議会運営委員会視察研修	2件
会費	24,000	2/25 令和元年度基山経済クラブ年会費	
合計件数(件)	合計額(円)	累計件数(件)	累計額(円)
3	36,000	9	87,294



ごあいさつ

大久保 由美子

議会は町民のみならず、行政や議会に反映していくことや、行政へのチェック機能を十分に発揮する場です。しっかりと合意形成を図るとともに、親しみのある分かりやすい議会の実現を目指します。

また、男女共同参画社会の実現と女性活躍推進法に基づき、働く女性がより自由に活躍できる社会の構築と、魅力ある基山町へと発展するように誠心誠意努めます。

今後とも基山町議会へのご指導ご支援をいただきますようよろしくお願い致します。

## 基山町議会 委員会の新構成

◎ 委員長

○ 副委員長

議長：品川 義則

副議長：大久保由美子

議会選出監査委員：天本 勉

### 町議会

#### 常任委員会

##### 総務文教常任委員会

◎ 野 久 明 大山 勝代 河野 保久  
○ 天 本 勉※ 大久保 由美子 松 石 健児

総務企画課・財政課・税務課・まちづくり課・出納室・教育学習課の所管について審査・調査をする

##### 厚生産業常任委員会

◎ 末 次 明 鳥飼 勝美 重松 一 徳  
○ 松 石 信 男 中 村 絵 理

住民課・健康増進課・福祉課・こども課・産業振興課・定住促進課・建設課の所管について審査・調査をする

##### 広報広聴常任委員会

◎ 松 石 健 児 重松 一 徳 末 次 明  
○ 大 山 勝 代 天 本 勉 中 村 絵 理

議会広報の編集、発行および議会報告会・子ども議会を開催する

##### 議会運営委員会

◎ 河 野 保 久 大山 勝代 鳥飼 勝美  
○ 重 松 一 徳 栗 野 久 明 末 次 明

議会運営について協議する

##### 議会改革特別委員会

◎ 中 村 絵 理※  
○ 重 松 一 徳※ ほかに全議員（議長を除く）

町民に開かれた議会に改革する

##### 全員協議会

全議員

議案等の協議及び調整をする

※新たに選出された委員

## 編集後記

種をまく人

今、世の中、新型コロナウイルスの感染拡大に戸惑っている。こんな時こそ、ものを自分で作る原点である農業を見直す時ではないだろうか。今回の議会だよりは新しい視点で農林業に取り組む人を特集しました。薪で炊いたご飯を手作り味噌の味噌汁でいただき、基山産小麦で作ったパンをジャージー牛乳やオリブオイルと一緒に「つまみ」と言って食べたい。  
(末次 明)



親子孫三代で苗代づくり

### 広報広聴常任委員会

委員長	松石 健児	委員	末次 明
副委員長	大山 勝代	委員	天本 勉
委員	重松 一徳	委員	中村 絵理